

設立30周年を迎えて

川島 恵子

福岡町芸術文化協会30周年誠にありがとうございます。

昭和57年に設立されて以来多くの皆様にささえられ芸術文化の町として発展をしてまいりました。20周年祭の折私は会長として成人式を迎えたと言うことばを使いましたが、これからは正に完成された大人としてさらに研鑽を積み資質の向上を図ると共に次世代に継承すべく 兼会長 を中心に会員全員の御協力と御努力でさらに飛躍されますことを心から祈念いたしましてお祝いの言葉とさせていただきます。

おめでとうございます。

(H14～H20 会長)

福岡宝生会



能楽・謡曲を愛好する団体が集合し、昭和38年に発足しました。活動は毎年2回の大会開催、砺波連合宝生会・西高岡宝生会・芸能祭等に出演しています。芸文協設立30周年を節目として、今後も一層の伝統芸能の普及に協会の皆さんと一緒に頑張っていきます。

能know会



世界無形文化遺産である能楽を多くの人を知ってほしいと、平成17年に発足しました。

協会による行事のほか、さくら祭や病院等で公演活動をしています。30周年を記念して、半能「胡蝶」を上演します。内容は芸文協ホームページをご覧ください。

小山 豊

本年で45回を迎えた文化祭をふり返り、私自身も詩吟を始めて40余年。福岡町文化祭と共に歩んだ思いが致します。当初の福岡町産業文化祭が、芸術文化協会設立を経て福岡町文化祭として発展しました。会場も芸術部門は小学校の3教室を借りて展示し、芸能部門は、小学校の発表会の後、午後から芸能発表をさせて頂いたものでした。

今回の発表迄には、歴代会長を筆頭に、役員各位には多くの困難を乗り越え、今日に至ったことに、深く敬意を表します。私も微力ながら役員、そして4年間の会長を務めさせて頂き、多くの会員、役員の皆様から暖かい御支援、御協力を頂き、心より感謝申し上げます。

又、邦楽出前講座や文化少年団の活動等、次世代の育成に会員各位が取り組まれている姿は、まことに喜ばしく、素晴らしいことです。このことは福岡町芸術文化協会の発展に大きく貢献するものと確信しています。

今後は、私も一会員として協力し、楽しませて頂きたいと思えます。

(H20～H24 会長)



福岡輝風会



当会は、昭和45年当時の公民館長故兼憲作氏の奨めにより詩吟同好会を設立して以来、現在まで五教室と増え、県内はもとより全国各地へと拡く活動しています。近年、東京日本武道館での発表の機会があり、その舞台の素晴らしさに感激し会員一同、ますますの精進を誓い合い研鑽に努めています。

弥生吟詠会



20年前浜木豊先生の呼びかけで数人で詩吟の会を始めました。

漢詩の意味を考えながら大きな声で吟ずるのは気持ちの良いものです。福岡町芸能祭や上部団体の大会に参加し発表しています。これからも皆んな集まって楽しく練習し、少しでも上達できればと思っています。

福岡剣楓会



福岡で剣詩舞教室が始まったのは、28年前でした。楽しい師範の元で、深く腰を下ろし足を開げ扇子を自在に扱い、剣詩舞の良さを習っています。今は会員が少人数となりましたが、これからも伝統芸能を残し歴史を振り返り、後世に伝えて行きたいと願っています。

ウインドフラワーズ



国体開会式で歌った男声仲間が、女声のリエールを吸収した形で平成14年に混声合唱団を立ち上げた。指導は、木脇禎先生の後多賀庸子先生に、ピアノは西原深雪先生をお願いしている。堀内道子さんからピアノを寄贈して頂き、練習会場を福岡公民館に移している。

ラ・コメート



生活に潤いを求めて平成9年に結成。以後、草の根コンサートの開催や芸能祭・音楽祭等への参加のほか、昨年は聖路加国際病院日野原重明理事長の講演会でも歌い、楽しい思い出を刻んできました。これからも仲間と共に、明るい歌声を響かせていきたいと思っています。

コール・プリエ



初めまして。芸文協設立30周年を迎える年に新しく参加する合唱団「コール・プリエ(祈り)」です。養鯉場の傍にある素敵なサロンで第2第4木曜の夜、前川先生指導の下、グランドピアノの伴奏で楽しく歌っています。歌う事が大好きな仲間を募っています。

藤舞会



設立30周年おめでとうございます。私たちは、日本舞踊を通して「感謝の心」「素直な心」「優しい思いやりの心」を学び、その心が踊りで表現できるように日々、芸に精進しております。本日、この舞台上に立てます事、皆様に感謝の気持ちでいっぱいでございます。